

漁海況速報

7-No. 34

茨城県水産試験場
漁業無線局

令和7年11月14日～11月20日

電話 (029) 273-7911

FAX (029) 270-1480

<http://www.pref.ibaraki.jp/soshiki/nourinsuisan/suishi/index.html>

【海況図説明】

1. 黒潮は、犬吠埼の南東45マイル付近を北北東に流れ、
36°30'N 142°30'E付近を流去している。
2. 本県沿岸域は、16～20℃台の水温となっている。

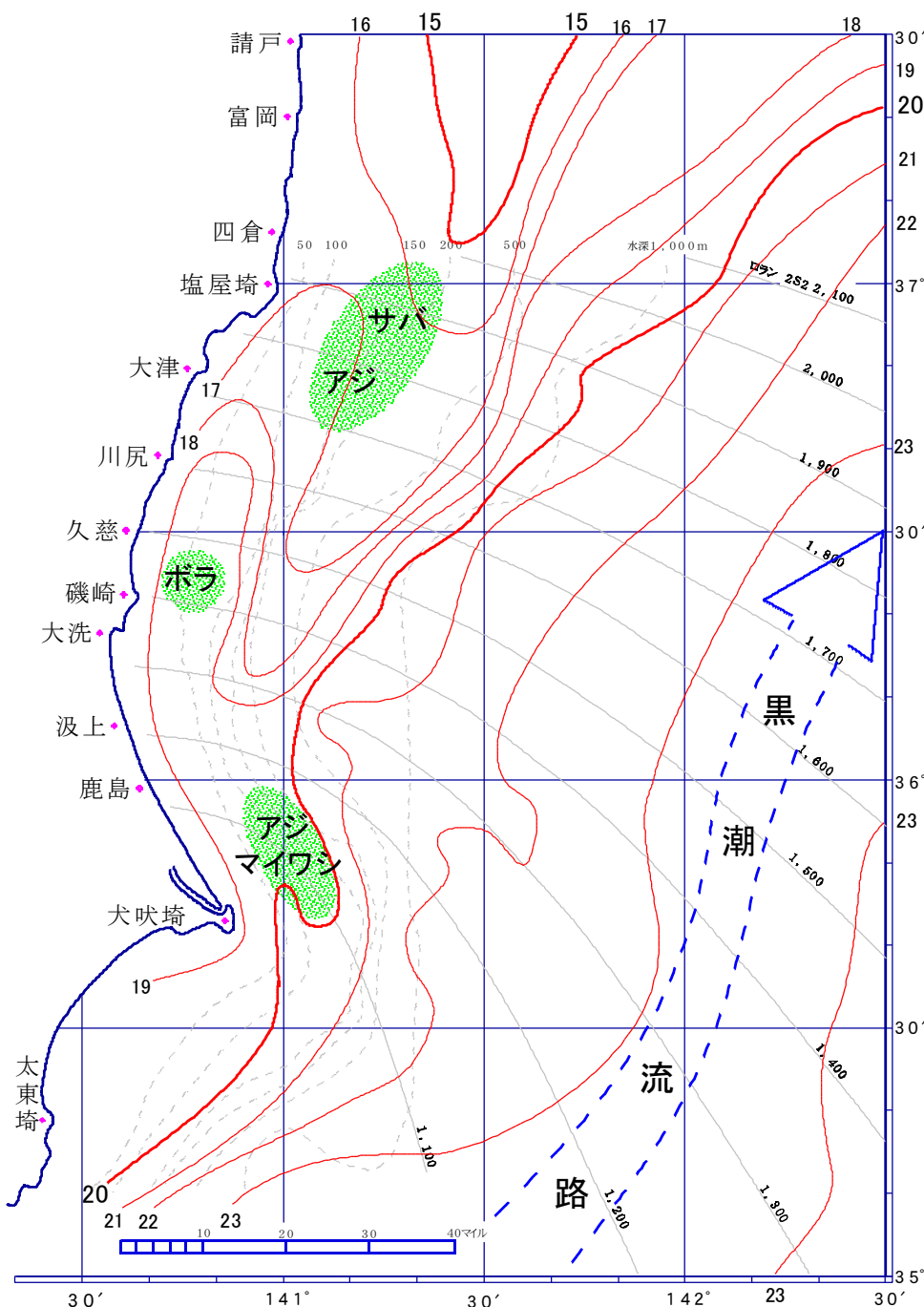
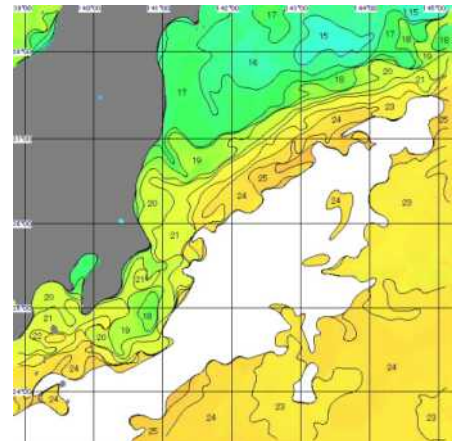
那珂湊定地水温(℃)

日	年令 7	年令 6	平年
11/14	17.5	18.9	17.0
15	17.0	19.6	16.9
16	16.7	19.5	16.8
17	17.8	19.9	16.7
18	17.4	19.5	16.5
19	16.9	18.9	16.4
20	16.3	18.5	16.3
平均	17.1	19.3	16.7

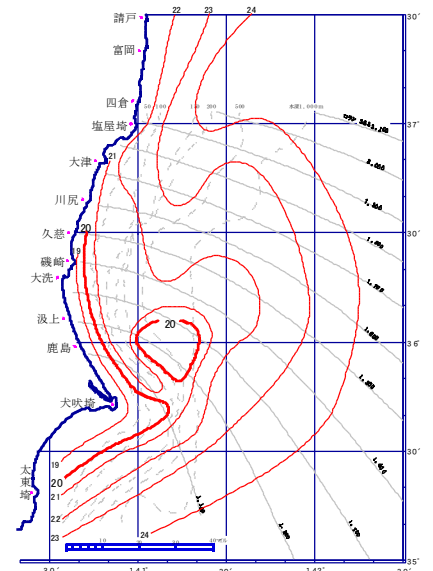
30年平均: 1991～2020年

令和7年11月14日～11月20日

【1週間合成衛星画像】



【海況図】



令和6年11月15日～11月21日

【海況図】

漁況の特徴

7-No.34

属地、単位＝四捨五入

11/13～11/19

◎

まき網

(漁獲は1投網当り)

マイワシ・・・犬吠埼の東北東10マイル付近で1～120トン、良い船で160～240トンの漁獲。

サバ・・・請戸の東北東25マイル付近で1～10トン、塩屋埼の東北東20マイル付近から大津の東南東20マイル付近で1～10トンの漁獲。

アジ・・・塩屋埼の東北東20マイル付近から大津の東20マイル付近で1～10トン、鹿島の東南東10マイル付近で5～20トンの漁獲。

ボラ・・・那珂湊の北東10マイル付近で1～60トンの漁獲。

◎

小型船

(漁獲は1隻当り)

◇船曳網

シラス・・・大洗地先から鹿島地先で5～258kg、波崎地先で6～34kgの漁獲。

カエリ・・・大津地先から磯原地先で45～890kgの漁獲。

◇曳釣り

平潟地先でヒラメ5～10kg、久慈浜地先から那珂湊地先でヒラメ1～15kg、イナダ1～5kg、那珂湊沖でメジ2～40kgの漁獲。

魚種	漁法	組合名	水揚げ量 kg	平均単価	水揚げ金額 円	延隻数
シラス	船曳網	大津	31	1,000	31,000	3
	"	大洗町	1,309	1,306	1,709,118	28
	"	はさき	56	1,500	84,000	2
ヒラメ	小底5t以上	川尻	13	849	10,950	
	その他釣り	平潟	300	1,921	575,388	
	"	大津	13	1,800	23,760	
	"	川尻	410	1,805	740,500	
	"	久慈町	15	1,284	19,260	
	"	那珂湊	162	2,166	350,500	
	大型定置網	会瀬	8	1,630	13,366	
タイ類	小底5t以上	平潟	245	104	25,627	
	"	川尻	426	352	149,755	
	"	久慈町	25	755	19,030	
	"	那珂湊	866	391	338,726	
	その他釣り	平潟	9	610	5,731	
	"	大津	29	749	21,410	
	"	川尻	11	816	8,890	
	大型定置網	会瀬	37	955	35,413	
スズキ	その他釣り	川尻	11	600	6,660	
	"	久慈浜丸小	31	1,000	31,000	
アナゴ	小底5t以上	久慈町	65	554	35,870	
	"	那珂湊	79	1,243	98,290	
アンコウ	小底5t以上	平潟	11	2,874	31,610	
	"	川尻	18	522	9,400	
	"	久慈町	201	974	195,600	
	"	那珂湊	199	925	184,440	
ホウボウ	小底5t以上	平潟	13	700	9,035	
	"	川尻	53	272	14,440	
	"	那珂湊	260	438	113,760	
フグ類	小底5t以上	川尻	47	254	11,880	
	延縄	大洗町	7	3,000	21,000	
	その他釣り	平潟	10	2,404	24,283	
	"	川尻	178	112	19,970	
サワラ	その他釣り	久慈町	8	1,298	10,770	
スルメイカ	小底5t以上	平潟	2,301	784	1,804,640	
	"	大津	(81)	14,607	1,178,806	
	"	川尻	1,177	918	1,080,120	
	"	久慈町	1,226	960	1,176,800	
	"	那珂湊	227	980	222,715	
ヤリイカ	小底5t以上	平潟	691	736	508,490	
	"	大津	(20)	14,108	282,150	
	"	川尻	506	527	266,400	
	"	久慈町	185	636	117,360	
	"	那珂湊	79	835	65,670	
マダコ	小底5t以上	那珂湊	24	942	22,690	
	その他釣り	平潟	28	943	25,920	
	"	那珂湊	11	1,306	14,100	
マアジ	小底5t以上	平潟	10	558	5,800	
	"	大津	57	249	14,216	
	"	久慈町	19	217	4,060	
	"	那珂湊	419	341	142,790	
	その他釣り	川尻	24	200	4,860	
	大型定置網	会瀬	23	178	4,119	
サバ	小底5t以上	大津	(15)	2,000	30,000	
	"	川尻	9	50	460	
	"	久慈町	134	20	2,674	
	"	那珂湊	256	118	30,025	
	大型定置網	会瀬	207	331	68,332	
	まき網	大津	4,003	200	800,600	
ブリ類	小底5t以上	川尻	9	300	2,670	
	その他釣り	平潟	14	470	6,771	
	"	久慈浜丸小	28	253	6,950	
	"	久慈町	50	224	11,098	
	"	那珂湊	21	413	8,580	
	大型定置網	会瀬	68	611	41,276	

注 延隻数:銘柄別隻数 大津の水揚げの一部は水揚げ量・平均円共に「山売」を含む

茨城県水産試験場漁業無線局

令和7年のイセエビ漁業について

1 令和7年のイセエビ漁獲量とCPUE

図1に茨城県におけるイセエビ漁獲量をまとめました。令和7年9月までの漁獲量は54トンで、前年(50トン)をわずかに上回りました。1日1隻当たり漁獲量(CPUE)は33.6 kg/隻・日で過去最高となっており(図2)、現時点で資源は維持されていると考えられます。

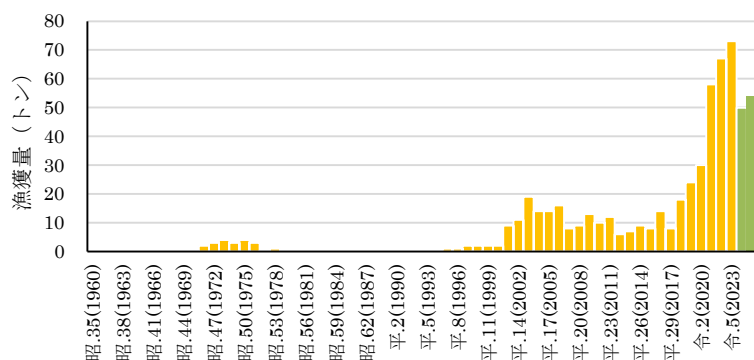


図1 茨城県におけるイセエビ漁獲量の推移
令和5年までは海面漁業生産統計調査(農林水産省)
令和6～7年は茨城県水産試験場漁獲管理情報処理システム

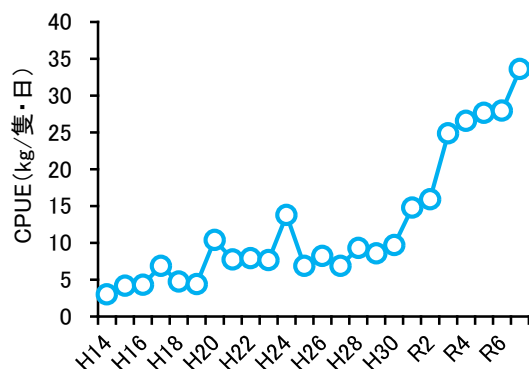


図2 茨城県におけるイセエビCPUEの推移

2 イセエビの漁獲サイズと成熟度

令和7年の市場調査で測定したイセエビの頭胸甲長(目の後ろから頭胸甲の後端までの長さ)を図3に、雌の成熟度の調査結果を図4に示しました。頭胸甲長は68-80 mmが主体で、前年・前々年の調査とほぼ同じでした。成熟度については、6月時点でも未抱卵個体がほとんどで、7月でもまだ発眼卵が見られず、前年よりも成熟が遅い傾向がみられました。原因として、春～初夏の沿岸水温が低かったことが考えられます。

来年度も引き続き調査を継続する予定ですので、市場調査の際にはご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

(定着性資源部 外山太一郎)

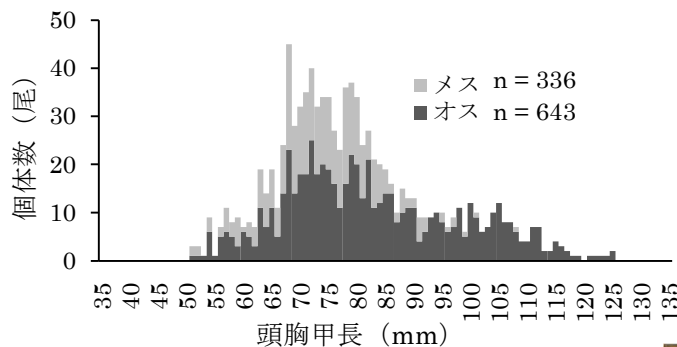


図3 市場調査によるイセエビ頭胸甲長組成

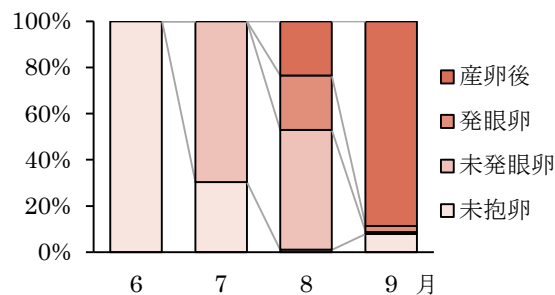
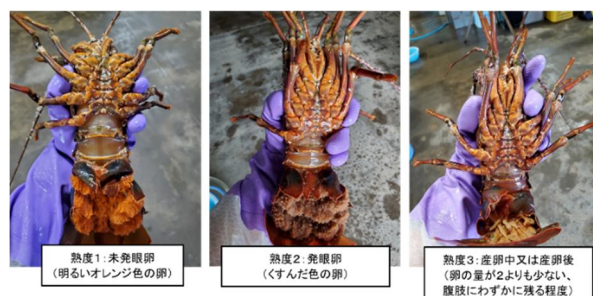


図4 市場調査によるイセエビ月別成熟度



【次回予告】令和7年11月28日発行の水産の窓は「鹿島灘はまぐりの資源状況」を予定しています。

放流ホシガレイが初めて確認されました！

茨城県では、水産資源の維持・増大を図るため、種苗（稚魚・稚貝）を生産し、海に放流して育てる「栽培漁業」を行っています。ホシガレイは、「第8次栽培漁業基本計画（R4～8）」より新たに対象種として選定され、令和5年度から種苗放流を開始しました。

種苗には、魚体の表面を小さくえぐる「パンチング」という標識を施しています。パンチングした箇所は、再生する際に通常よりも小さな鱗（再生鱗）に覆われるため、放流個体であることを判別できます。毎年パンチングする場所や数を変えることで、何年に放流した種苗かを確認できるようにしています。

11月14日に久慈漁港の市場調査を行っていたところ、全長約30cmの小型のホシガレイが水揚げされていました。体表をよく見てみると、腹側の後方に再生鱗が確認され、標識の位置から令和5年度に放流した種苗であることがわかりました。これはホシガレイ種苗放流を開始して以降、初めて水揚げされた放流個体になります。

引き続き、放流種苗がどの程度漁獲に加入しているかを調査し、ホシガレイ栽培漁業の効果を明らかにできるよう調査・研究を進めてまいります。

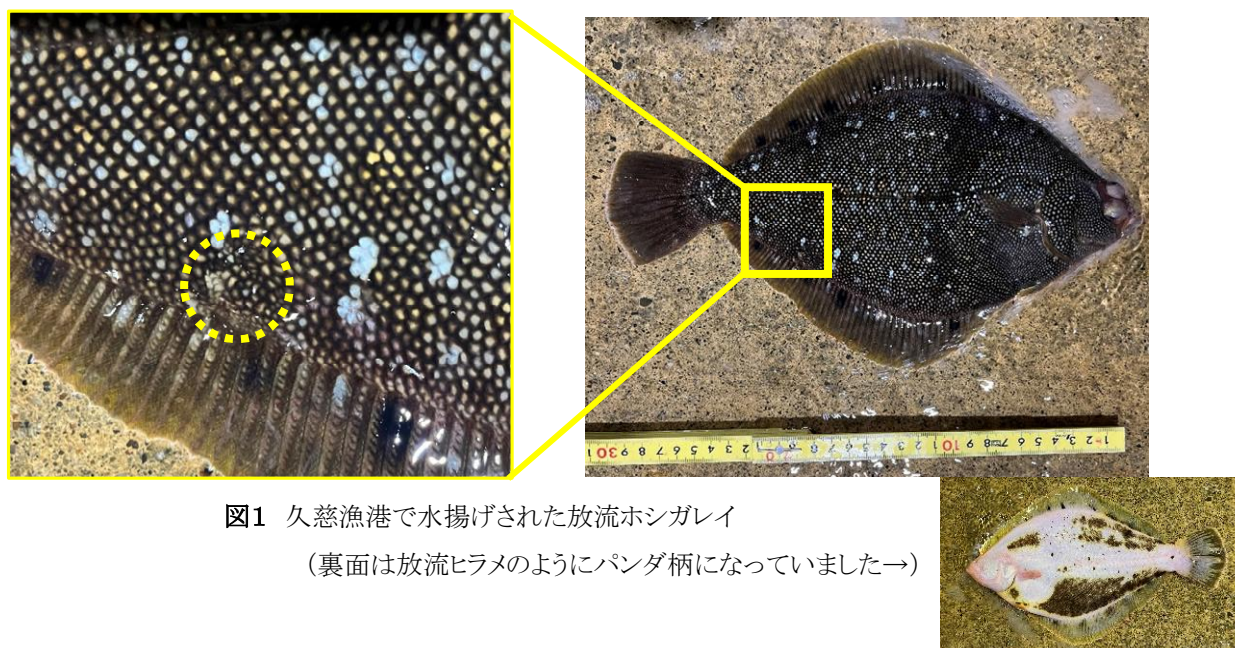


図1 久慈漁港で水揚げされた放流ホシガレイ
(裏面は放流ヒラメのようにパンダ柄になっていました→)

求む！ 標識ホシガレイ情報！

上記のような再生鱗を持つ、もしくはパンダになったホシガレイが漁獲された際には、茨城県水産試験場定着性資源部(029-262-4157)までご一報いただくか、大きさのわかるものと一緒に撮った写真、再生鱗の位置がわかる写真をご提供(suishi@pref.ibaraki.lg.jp)いただけると大変ありがたいと思います。

今後ともホシガレイ放流および追跡調査にご理解、ご協力のほどをよろしくお願いいたします。

(定着性資源部 多賀 真・外山太一郎)